

## 2004年3月9日 一般質問要旨

### 1 食と農について (健康局長)

#### (1) 食の安全・安心について

新年度は組織再編を行い、消費者の視点に立った食の安全に取り組むとしているが、「なら食の安全・安心確保の推進基本方針」には、消費者の権利という明確な規定はなく、消費者の選択の権利と限定された表現がされている。消費者の位置づけを「消費者の保護」から「消費者の自立」へとシフトしているときにあって、「消費者の権利」について、県の基本的な認識を伺いたい。

また、リスクコミュニケーションについて、具体的にどう取り組んでいくのか。

#### (2) (仮称) 奈良の「食」行動計画について (農林部長)

① 「なら食の安全・安心確保、生産から流通・消費における商品の安全確保及び新たな食品行政に対応するための体制等の充実という3つの重点施策が、策定中の(仮称)奈良の「食」行動計画においてどのように具体化されるのか。

② 県内食糧自給率の向上対策や地産地消の具体的な推進方策について、どのように考えているのか。

③ 他県では、食の豊かさやゆとりの面から食・農を見直す施策が構造改革特区で提案されているが、県ではこのような特区申請についてどう考えているのか。

#### (3) 食育教育と学校給食について (教育長)

食育教育の充実についての考え方を伺いたい。

また、「食育」を踏まえ、学校給食における県内食材、地元食材供給率と、その向上に向けた、給食での地産地消システム構築策について伺いたい。

### 2 学研都市高山第2工区について

(1) 生駒市が市議会で説明している第2工区の下水処理は流域下水道で行うということについて、公団、県及び市の三者の合意形成はどのようにになっているのか。また、奈良県汚水処理総合基本構想について、市町村とどのような協議をして見直しを行ったのか、そのプロセスと結果を伺いたい。(土木部長)

(2) 第2工区内の県立公園について、企画段階からの市民参加をどのように考えているのか。(企画部長)

(3) オオタカの調査は環境省のマニュアルに沿って行われているのか、また、市民団体から保護策の要請が行われた以降の、県及び公団の取り組みを伺いたい。(企画部長)

### 3 介護サービス第三者評価について (福祉部長)

(1) 第三者評価の実施にあたっては、評価調査員の担う役割が大きく、いかに客観的かつ公平に調査が行われるかが重要であるが、県では、評価調査員の資質向上に向けてどのように取り組まれるのか、県の第三者評価システム策定に向けての考え方も併せて伺いたい。

(2) 平成16年度にグループホームの外部評価機関の立ち上げ支援に取り組むとしているが、評価機関としてどのような団体を予定しているのか。NPOなどの市民団体の中にも評価機関として考え得る団体があると思うが、どうか。

4 中学校・高等学校新規学卒者の就職支援について (理事兼商工労働部長)  
中学校・高等学校新規学卒者に対する就職支援の取り組みについて伺いたい。

5 教育問題について (教育長)

(1) 県立高校再編計画について

県立高校再編計画の実施にあたり、3部制単位制高校が卒業生を送り出す2011年度までの8年間の予算について、特別枠で措置されるべきと考えるがどうか。

また、8年間の総額を試算されているのであれば伺いたい。

(2) 3部制単位制高校について

定時制高校6校、分校3校の計9校のうち、5校までが何らかの形で免許外授業を行っているという実態があるが、どのように認識しているのか。

また、3部制単位制高校に関して、同様のことが起こらないよう、現状を改善しながら、設置に取りかかるべきと考えるがどうか。